

団体名： NPO 法人 プレイフルエンタープライズわかば

事業・活動名：子どもたちの森公園プレーパーク、15周年記念イベント

使途&助成金額：15周年の節目を祝う、記念品（フォトブック、オリジナルベーゴマ）と遊具作りの材料費
130,878円

開催頻度：毎週金曜日～火曜日（水・木休み）

エリア：千葉市若葉区

事業内容

子どもたちへ、自然の中で自由に遊ぶ＝活動する体験を通して、子どもの成育環境をよりよくするため、千葉市と協働で常設型のプレーパークを運営している。

駐車場は千葉市動物公園内にとの案内に、外を回るとかなり距離があるものと思っていましたが、「子どもたちの森公園」と書かれた看板の矢印に沿って奥へ進むと、小さい子ども連れでも安心して歩ける遊歩道があり、10分ほどで到着しました。敷地は千葉市の源四季の森と繋がっており、木漏れ日の中散策するのも楽しそうです。

焚火はもう始まっており、おままごと小屋、高い木に繋がったブランコ、たっぷりの落ち葉の中へジャンプする滑り台、ワクワクする仕掛けがたくさんで、常連の子どもたちはもう準備万端、千葉市子ども交流館からの団体さんも来園して賑わい始めていました。

代表の相澤さんにご挨拶して、活動の概要を伺い、今回エコロで助成したフォトブックとオリジナルベーゴマを見せて頂きました。設立当時の近隣の方が15年たち高齢となつてなかなかこの場所に来れないので、このフォトブックを作ることで一緒にこれまでを振り返ることができましたとの事。15 t h I♥KM と森のイラストが入ったベーゴマのデザインもステキです。ベーゴマを速く強く回すのは技が要りそうで、トライしてみましたが糸巻きで断念。

お昼を過ぎるとそれぞれお弁当を広げたり、焚火に仕込んだ焼き芋が完成していて頬張ったり、鍋で沸かしたお湯でカップ麺などなど、少し静かな時間が流れます。

午後になって家族連れだけでなく、散策の途中で立ち寄る大人同士の来場者も増え、70～80人はいたでしょうか。そんな中、木と木の間材木を水平にロープでしばりつけようとしている高学年の男の子たち、頑丈に結びつけようと頑張っています。そばに立つスタッフさんは助言しつつ見守っています。お聞きするとツリーハウスを作ろうと試行錯誤しているとの事。すぐにはうまくいかない事をみんなであれこれ考えてやってみる、豊かな時間。子どもだけでなく大人もワクワクして色々やりたくなる居場所。あちこちにそんな風景が広がる日曜の午後でした。

ホームページ

HP あり

連絡先 043-254-2328

福祉委員 西原和代

